

立命館生協(衣笠) 井ペリの回収促進活動



[環境]

取り組み概要

日時：2020年12月～
場所：購買やTwitter上
参加者数や組合員の反応：Twitterに投稿した動画は680回ほど再生されている。

背景や概要：総代会のアンケート結果や、レジ袋有料化などの社会の動きから、「井ペリ」の回収促進活動を、工夫を凝らして行った。

活動の意義と現状を突き詰めた取り組み

POINT.1

現状を踏まえて活動に



この取り組みの素晴らしいポイントは「現状をしっかりと把握した上で取り組んでいる点」です！総代会で行った「井ペリの回収率」に関するアンケートから、組合員の「井ペリ」に対する認知度が低いという結果が出ていました。また、レジ袋の有料化など、組合員の環境問題に対する意識が高まっていることを踏まえて、ポスターや動画の作成を行いました！組合員の現状や社会の動きをしっかりと認識したうえで取り組みを行っているんです！

POINT.2

回収の促進だけじゃない！

「井ペリ」の回収促進活動は多くの大学生協で行われていますが、今回の取り組みが素晴らしい点は「単に回収を呼び掛けているのではなく、なぜ回収すると良いのか」を明確化している点にあります！

井ペリを回収する意義を「SDGs」を絡めて解説したり、井ペリを回収するという組合員の行動が「環境を変える行動」になると伝えているのです！「学生委員会がSDGsの取り組みを行っている」と組合員に伝えることにも繋がっています！

- 1.水資源を守る
- 2.ゴミの削減
- 3.天然資源を守る



POINT.3

事務局からのコメント



今回の取り組みには、どこの大学生協・学生委員会でも生かせる教訓点が2つあります！

1つは「アンケート結果などから組合員の現状を把握しつつ、社会の動きを理解して、取り組みに反映させている点」

もう1つは「なぜその活動を行うのかという意義を明確化している点」です！

活動を続けていると、つつい目的を見失って、「活動をする事がゴール」となってしまうケースがあります。常に組合員や社会の現状に目を向け、なぜその活動を行うのかを再確認する事が大切なのではないでしょうか。

